

安心のまちづくりへ

浸水センサを設置しました

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が相次いで発生しています。こうした中、浸水状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっています。そこで、道路の浸水状況をリアルタイムに把握できる「浸水センサ」を設置しました。

この情報を基に、危険箇所を避けての移動や、避難の判断を早める等、地域の皆さんの水害対策に活用できます。



道路の冠水
東栄町
令和7年9月5日



浸水センサとは

一定時間水に浸かると、自動で電波が発信され、浸水を把握できる仕組みです。

浸水の状況は、国土交通省が管理する「浸水センサ表示システム」でリアルタイムに確認できます。



浸水センサ設置箇所

東栄町、桜町、城南町、安城町、桜井町の5箇所に7基の浸水センサを設置しています。設置箇所の詳細は、国土交通省HPを確認してください。



浸水センサは精密機器です。見かけた際には手を触れないようお願いいたします。

パソコンやスマートフォンで浸水状況が確認できます。

